

大問	小問	解答 番号	正解	配点	解説
<div> <div></div> 50 点 </div>	問（一）	①	緩和	2 点	
		②	緊密	2 点	
		③	漠然	2 点	
		④	観念	2 点	
		⑤	遭遇	2 点	
	問（二）	⑥	㉠	3 点	接続詞の前段落では、自殺対策についての通説に関する疑問が述べられている。そして、接続詞の後の文章は、「かつての（通説に疑問をもたなかった）私」と比較している。そのため、「仮に疑問をもたなかったのならば、かつての私と同じになってしまう」と仮定する接続詞が適切となる。よって、「さもなければ」が適切。
		⑦	㉡	3 点	接続詞の前段落では、「幸せでも不幸せでもない」状態の良い点について述べられている。そして、接続詞の後の文章は、「不幸でない」ことの重要性について追加的に述べられている。よって、添加の接続詞である「さらにいえば」が適切である。
	問（三）	⑧	㉢	3 点	本文では、「通説には…思考を鈍らせる副作用がある」とあるので、「思考停止」が適切な語である。また、自殺対策に関する箇所では、「通説…を用いる人が陥りやすい思考停止」ともある。
		⑨	㉣	3 点	本文では、筆者が「本当にそうなのだろうか」と疑問をもっているため、繰り返し検討をおこなう「自問自答」が適切である。
		⑩	㉤	3 点	本文では、通説と異なる結果が出たことで筆者が新たな発見をしている。そのため、これまでの考えをくつがえされるという意味の「既成概念」が適切である。
	問（四）	⑪	㉥	4 点	本文では「通説に疑問をもった…」とある。そのため、筆者は「おかしいと思うようになって」いる。 ㉠㉡㉢㉣：疑問の対象が誤っている。 ㉥：本文の内容として適当である。
	問（五）	⑫	㉦	4 点	本文では「本当にそうなのだろうか」「問題の核心はそこではない」「…提言されているだろうか」と、「命を大切にする」教育の効果について、疑問を呈している。 ㉦：「心から賛同している」ので誤り。 ㉠：「思考停止」しているのは、中学生ではないため誤り。また、教育現場の対処についても言及していない。 ㉥：シミュレートの対象は「命を大切にする」教育の効果

				<p>であるので誤り。</p> <p>㊥：本文の内容として適当である。</p> <p>㊦：筆者は「命を大切する」教育の普及については言及していないので誤り。</p>
	問（六）	㊮	右記	<p>8 点</p> <p>【解答例】</p> <p>世間や他者の状況と比較して、自分が幸福かどうかを評価すること（30 字）</p> <p>【採点のポイント】</p> <p>1.何かと比較していること（3 点）</p> <p>2.比較したうえで評価すること（3 点）</p> <p>3.「相対的」の意味を理解した記述かどうか（2 点）</p>
	問（七）	㊮	㊥	<p>4 点</p> <p>㊦㊧㊨㊩：本文の内容として適当である。</p> <p>㊥：本文では「現実には大勢の人が立派に出世している…」とあるため、適当ではない。</p>
	問（八）	㊮	㊧	<p>5 点</p> <p>㊦㊨㊥㊩：本文の内容に合っている。</p> <p>㊧：本文では「人との絆が自殺対策における重要な鍵であるとする主張自体はまったく間違っていない」としているため、本文の内容とは合わない。</p>